学年	教　科	科　目	教科書名	副教材名
高３ 特別進学 〔文系〕	数学	数学研究	数学Ⅰ　数学Ⅱ 数学Ａ　数学Ｂ	ニューステージ数学演習Ⅰ･Ａ+Ⅱ･Ｂ

１．授業のねらい

（１）既習である数学Ⅰ，数学Ａ，数学Ⅱ，数学Ｂの内容についての理解を深め，実戦力を身につけていく。

（２）大学入学共通テストに対応するための学力向上を目指す。

２．授業のすすめ方

（１）「ニューステージ数学演習Ⅰ･Ａ＋Ⅱ･Ｂ」の問題演習および解答・解説をします。

（２）大学入学共通テスト対策問題の演習および解答・解説をします。
その際，iPad や電子黒板を利用して，解法例や別解や参考事項を説明します。

３．学習上の留意点

（１）授業の前に予習してくることを前提とし，それらの問題に対しての演習を行い，解説・補足をする形式の授業です。苦手な人も積極的に授業に取り組みましょう。すべて受け身では意味を成しません。

（２）予習でテキストの問題を解く際は，間違っていても構いませんので，必ずノートに自分の解答を書いてきてください。また，問題を解くことが困難だった場合は，教科書や参考書などを用いても構わないので，利用する公式や考え方の基本は理解してくるようにしましょう。

（３）間違えた問題はそのままにせず，理解するまで努力しましょう。また，予習で手がつけられなかった問題も，授業後の復習において自力で解くことで，更なる飛躍が期待できます。

４．副教材・参考文献

（１）ニューステージ数学演習Ⅰ･Ａ＋Ⅱ･Ｂ　受験編　（数研出版）

（２）参考書は特に指定しません。必要に応じて，各自にあったものを使用してください。

（３）Classi，スタディサプリの動画教材

５．評価方法

（１）定期考査は，1 学期は中間考査 100 点，期末考査 100 点，2 学期は期末考査 100 点で実施します。

（２）平常点は，第 1 学期 20 点，第 2 学期 10 点となります。
授業に対する関心・意欲・態度などの平常の学習姿勢と，ノート提出・授業の出席の状況で評価します。

６．定期考査

（１）授業内容（テキスト）を基礎として，知識の習得，理解の定着，数学的な考え方，それに伴う表現・処理能力を見るための問題を出題します。

（２）各定期考査の範囲（予定）
1 学期中間考査　CHECK 問題～STEP 問題（数学Ⅰ・数学Ａ）
1 学期期末考査　CHECK 問題～STEP 問題（数学Ⅱ・数学Ｂ）
2 学期期末考査　STEP 問題～TRIAL 問題（数学Ⅰ・数学Ａ・数学Ⅱ・数学Ｂ）
※各定期考査の正式な範囲は，考査の 1 週間前頃に発表します。

７．授業計画

	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	1.『CHECK』『STEP』問題の演習 および解答・解説 【数学Ⅰ】式の計算，１次不等式，集合， 命題と論証，２次関数，２次関数の最大・最小， ２次方程式と２次不等式，三角比の基本， 三角比と図形，データの代表値と散らばり， データの相関 【数学Ａ】場合の数・順列・組合せ，確率， 平面図形，空間図形，整数の性質 【数学Ⅱ】式と証明，複素数と方程式， 点・直線・円，曲線と直線，軌跡と領域， 三角関数，指数関数，対数関数，導関数と接線， 関数の値の変化，最大・最小， 微分法の応用，不定積分・定積分，面積 【数学Ｂ】ベクトルの基本，平面ベクトルと図形， 空間ベクトルと図形，等差数列・等比数列， 種々の数列，漸化式と数列，数学的帰納法	中間考査 期末考査	典型的な基本～標準レベルの入試問題に触れ，反復して解くことで解法を身につけ，定着を目指す。
二学期	9 10 11 12	2.『STEP』『TRIAL』問題の演習 および解答・解説 【数学Ⅰ】式の計算，１次不等式，集合， 命題と論証，２次関数，２次関数の最大・最小， ２次方程式と２次不等式，三角比の基本， 三角比と図形，データの代表値と散らばり， データの相関 【数学Ａ】場合の数・順列・組合せ，確率， 平面図形，空間図形，整数の性質 【数学Ⅱ】式と証明，複素数と方程式， 点・直線・円，曲線と直線，軌跡と領域， 三角関数，指数関数，対数関数，導関数と接線， 関数の値の変化，最大・最小， 微分法の応用，不定積分・定積分，面積 【数学Ｂ】ベクトルの基本，平面ベクトルと図形， 空間ベクトルと図形，等差数列・等比数列， 種々の数列，漸化式と数列，数学的帰納法 3. 大学入学共通テスト対策問題の演習 および解答・解説	期末考査	レベルの高い問題にも触れることで応用力を養い，更なる学力の向上を目指す。 入試問題の演習を行い，総合的な応用力を伸ばすことを目指す。